

第2号議案 会費等の改訂承認の件

物理探査学会の正会員数は、平成20年から本年度までに1416名から1362名と約5%の会員減を示し、近年減少傾向を示しております。この傾向に歯止めを掛けるには、新規入会員を増加させる努力を行うことは当然として、同時に退会者の低減を図ることが必要です。

現在退会者の多い年代は50歳代後半から60歳代以上の会員であり、最近では特に61歳と64歳をピークとする退会者が顕著です。この原因は、現職からの定年退職に伴うものであると推定され、今後も定年延長制度と関係して65歳前後で退会を考える方が多いものと予想されます。

これら定年退職に伴い物理探査業務から離れる会員の方々にも、引き続き物理探査技術の社会貢献・普及や広い視野からの学会活動への指導・助言、あるいは後進の指導などで物理探査学会との繋がりを継続して頂く環境を整えることを目的として、本議案は、平成24年度から、会費等を以下の通りに改訂することをお諮りいたします。

- (1) 65歳以上の会員の会費を一律現行の半額(3,500円)とする。
- (2) 永年会員(正会員として30年以上在籍した70歳以上の会員)の会費を無料とする。
- (3) 名誉会員については、学会が行う各種行事への参加費を無料とする。

以上